

東北地方 1か月予報

(7月31日から8月30日までの天候見通し)

平成16年7月30日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北地方はここ数日気温のかなり高い状態が続く見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

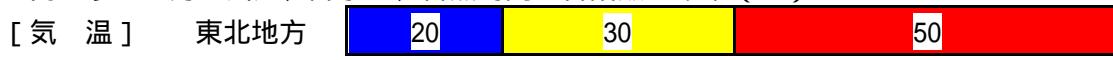
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れの日が多いですが、2週目を中心に前線や寒気の影響で天気がぐずつくでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

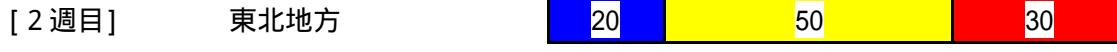
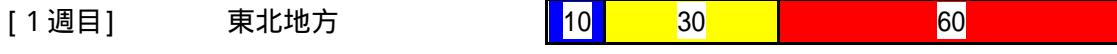
週別の気温は、1週目は高い、2週目は平年並、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 7月31日(土) ~ 8月30日(月)

1週目 : 7月31日(土) ~ 8月 6日(金)

2週目 : 8月 7日(土) ~ 8月13日(金)

3~4週目 : 8月14日(土) ~ 8月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月6日

3か月予報：8月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	23.0	182.0	162.3	23.4	23.3	22.8
新庄	23.9	165.5	178.8	24.5	24.3	23.7
若松	24.8	126.6	200.2	25.3	25.1	24.6
深浦	23.1	157.5	186.3	23.6	23.5	22.9
青森	23.0	127.7	191.4	23.7	23.5	22.7
むつ	21.7	134.5	154.4	22.2	22.0	21.4
八戸	22.3	135.8	174.8	22.9	22.7	22.1
秋田	24.5	176.5	201.2	24.9	24.9	24.4
盛岡	23.2	169.4	159.6	23.8	23.6	23.0
宮古	22.2	168.6	166.4	22.6	22.5	22.1
酒田	24.9	171.3	213.1	25.4	25.3	24.8
山形	24.6	140.9	185.4	25.3	25.0	24.4
仙台	24.1	163.6	156.2	24.5	24.4	23.9
石巻	23.5	118.1	178.7	23.6	23.7	23.4
福島	25.2	136.2	159.9	25.8	25.6	25.0
白河	23.3	212.5	155.1	23.8	23.6	23.1
小名浜	23.9	128.8	194.8	23.7	23.9	24.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.6	73~120	89~110
東北日本海側	-0.5~+0.5	77~110	91~112
東北太平洋側	-0.4~+0.6	67~126	87~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+1.2	-0.7~+1.0	-0.5~+0.9
東北日本海側	-0.8~+1.1	-0.8~+1.0	-0.5~+0.9
東北太平洋側	-0.6~+1.3	-0.7~+1.2	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年7月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(7月31日~8月30日):

太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れの日が多いですが、2週目を中心に前線や寒気の影響で天気がぐずつくでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1週目(7月31日~8月6日):

太平洋高気圧に覆われて概ね晴れます、期間の終わりは気圧の谷の影響で曇る所があるでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2週目(8月7日~8月13日):

前線や寒気の影響で天気がぐずつき、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(8月14日~8月27日):

太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

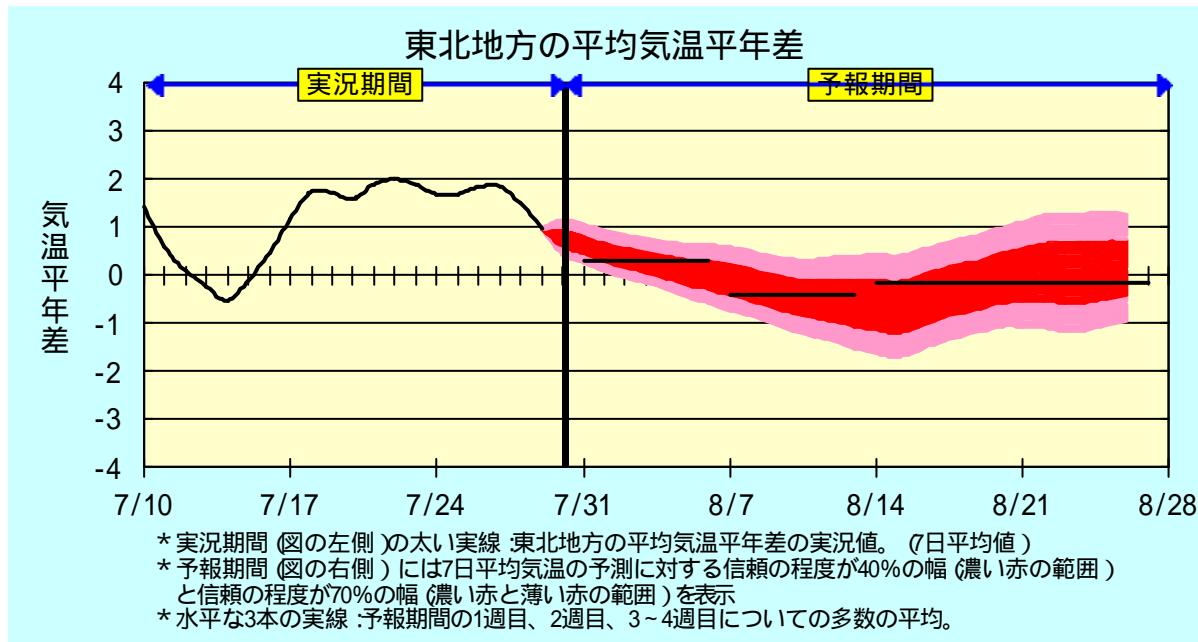
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.3日	3.9日	4.5日	7.9日
東北太平洋側	14.5日	3.7日	4.0日	6.8日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予想している。予報は、週間予報の資料等から1週目を「高い」、2週目を「平年並」、3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

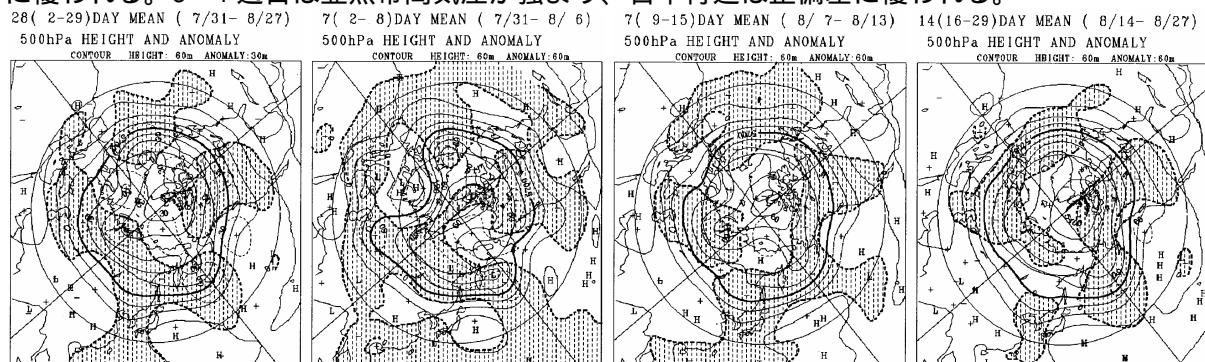


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近は正偏差だが、中・高緯度には寒気が南下して負偏差となる。日本付近は亜熱帯高気圧の張り出しが強く、北・東日本は正偏差に覆われるが、中国東北区から西日本、南西諸島は広く負偏差に覆われる。

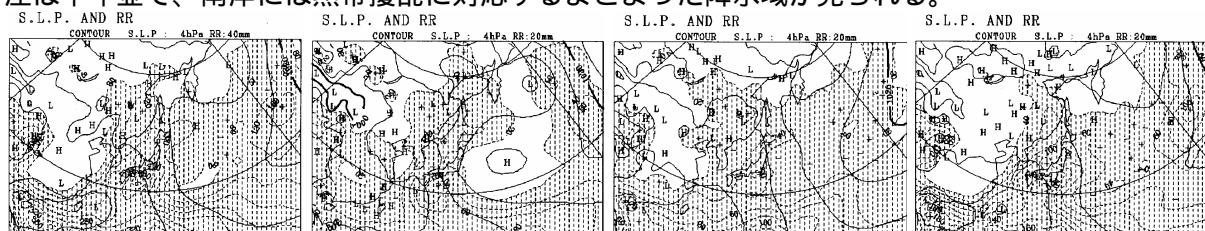
1週目は、亜熱帯高気圧の張り出しが強く、北・東日本は正偏差に覆われる。台風第10号に対応して西日本は負偏差。2週目は寒気が南下し、亜熱帯高気圧も弱まって日本付近は広く負偏差に覆われる。3~4週目は亜熱帯高気圧が強まり、日本付近は正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが平年並。南岸には熱帯擾乱に対応するまとまった降水域が見られる。ただし、熱帯擾乱に関する予測は不確実な部分が多い。

1週目は太平洋高気圧が日本付近に強く張り出す。四国沖には台風第10号によるまとまった降水域。2週目は太平洋高気圧が弱く、日本付近は広く降水域に覆われる。3~4週目は太平洋高気圧は平年並で、南岸には熱帯擾乱に対応するまとまった降水域が見られる。

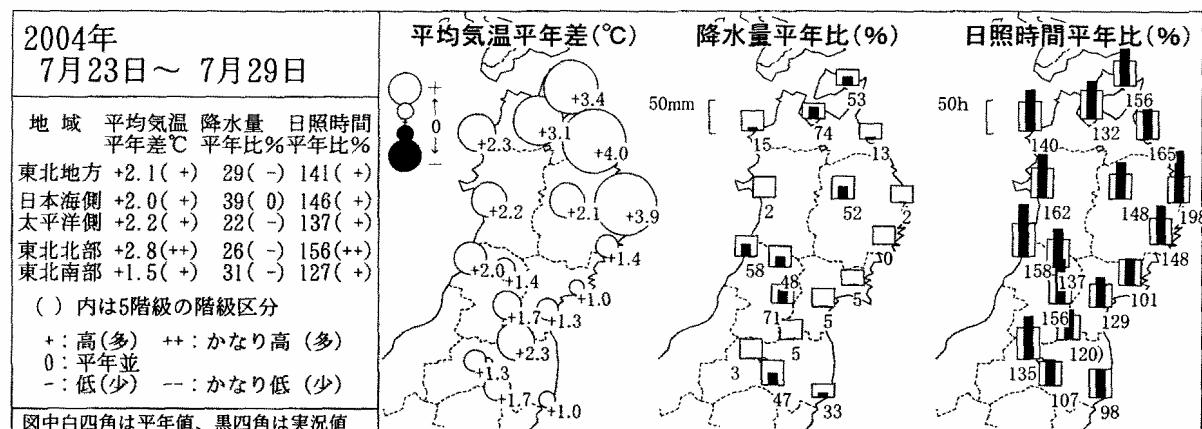


4. 最近1週間（7月23日～7月29日）の天候の経過

太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が続き、大気の状態が不安定となって雷雨となる日が多くなった。24日は福島・栃木県境の帝釈山山頂付近で落雷により1名死亡し、26日は上空に寒気が入ったため各地で雷雨により停電や列車の運休等があった。期間の終わりは、本州南海上を進む台風第10号からの湿った南東風の影響で東北太平洋側の南部は曇りや雨となった。

なお、29日には高温に関する東北地方気象情報第1号を発表した。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)